

令和6年度関東高等学校選抜バドミントン大会
兼 第53回全国高等学校選抜バドミントン大会関東地区予選会
実施要項

- 1 主催 関東バドミントン連盟 関東高等学校体育連盟
- 2 主管 群馬県バドミントン協会 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部
群馬県高等学校体育連盟 群馬県高等学校体育連盟バドミントン専門部
- 3 後援 群馬県 群馬県教育委員会 前橋市 前橋市教育委員会 公益財団法人群馬県スポーツ協会
- 4 大会日程 令和6年12月13日(金)～12月15日(日)
代表者会議 令和6年12月13日(金) 15時00分から
競技(個人対抗) 令和6年12月14日(土) 9時30分から
競技(個人対抗) 令和6年12月15日(日) 9時30分から
表彰 各種目の競技終了後

- 5 会場 ALSOKぐんまアリーナ
〒371-0047 前橋市関根町800番地
TEL: 027-234-1200 FAX: 027-234-1215

*代表者会議は、ALSOKぐんまアリーナ内のミーティングルーム1で行う。

- 6 種目 個人対抗(男女 各シングルス ダブルス)
- 7 競技規則 本大会実施要項及び令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程による。
- 8 競技方法 個人対抗(個人戦)シングルス・ダブルスを行い、いずれもトーナメント戦方式による。同一都県の選手で準決勝以上が行われる場合、順位決定戦を行うこともある。
- 9 使用器具 (公財)日本バドミントン協会検定・審査用器具及び令和6年度第1種検定合格水鳥球を使用する。使用するシャトルは、次の銘柄とする。
ヨネックス(ニューオフィシャル) ミズノ(スカイクロスG-1) ゴーセン(GFN110)
- 10 参加資格 (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在学する生徒で、各都県高等学校体育連盟に加盟し、各都県予選会を経て代表権を得た者。
(2)(公財)日本バドミントン協会に令和6年度登録完了済みの者。
(3)年齢は平成18年4月2日以降に生まれ、1・2年生に在学するものとする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4)全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5)統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会の参加を認める。
(6)転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該都県の高等学校体育連盟会長の許可があれば、その限りではない。
(7)参加する選手は、予め健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
(8)参加資格の特例
①上記10(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により本大会参加資格を満たすと判断され、各都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
②上記10(3)ただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は2回限りとする。

(9)大会参加資格の別途に定める規定

①学校基本法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

②以下の条件を具備すること。

ア 大会参加資格を認める条件

ア) 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ) 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場がみとめられ、関東大会への出場条件が満たされていること。

エ) 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

イ 大会参加に際し守るべき条件

ア) 関東高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ) 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 11 参加制限 (1)参加数の枠は、各県（栃木・千葉・茨城・埼玉・山梨・神奈川・群馬）男女シングルス4名ずつ、男女ダブルス4組ずつとする。
ただし、同一校からは2名・2組までとする。
東京都・西東京はあわせて男女シングルス4名ずつ、男女ダブルス4組ずつとする。
シングルス・ダブルスとも監督1名のみとし、ダブルスの選手は同一校選手とする。
(2)外国人留学生は、各都県で男・女、各々シングルス1名・ダブルス1組までとする。

- 12 引率監督 (1)出場選手は必ず引率責任者によって引率される。
引率責任者は、選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。
(2)引率責任者は、校長の認める学校職員とする。
また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は都県高体連会長に事前に届け出ること。
(3)監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲であれば、その規定に従うことを原則とする。

- 13 表彰 1位～3位まで表彰する。表彰は試合直後にそのコートで行う。

- 14 参加料 (1)参加料
個人対抗 1人1種目 4,500円

(2)納入方法

ア 令和6年11月29日（金）までに、下記口座に振り込むこと。

イ プログラム代金（無料分を除く、1部1,000円）も合わせて振り込むこと。

ウ 振り込み先

金融機関名	群馬銀行
支店(番号)	伊勢崎北支店(156)
預金種目	普通
口座番号	0069619
フリガナ	ガンマケンコウタイレンバトミントンセンモンブ ハラダユキ
口座名	群馬県高体連バドミントン専門部 原田優樹

- 15 申し込み (1) 参加校は参加申込書を、「群馬県高等学校体育連盟バドミントン専門部」のホームページからダウンロードし、必要事項を入力したデータを下記メールアドレスへ、11月22日（金）迄に送信すること。
また、プリントアウトした大会参加申込書（正1通・副1通）に押印して各都県委員長に提出すること。
- 『群馬県高等学校体育連盟バドミントン専門部』
<http://www.gunbad.jp/hi/index.html>
- 『群馬県高体連バドミントン専門部委員長 E-mail』
akio-hirama@edu-g.gsn.ed.jp
- (2) 各都県委員長は、都県ごとに取りまとめた大会参加申込書を令和6年11月29日（金）の専門委員長会議にて提出すること。
- ①個人対抗申し込み後の選手変更は、いかなる場合も認めない
②個人情報の取り扱いに関して、大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。（詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報および肖像権に関わる取り扱いについて」を参照下さい。）
- 16 組合せ 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部が指名した競技役員長（レフェリー）の指示の下、本専門部役員との間で厳正に執り行う。
- 17 競技上の注意 (1) 試合はタイムテーブルにもとづき流しこみ方式で行うが、連続する試合は時間を空けるので、進行の指示に従うこと。試合進行状況によっては、試合開始時刻やコートの変更等を行うこともあるので、放送に従うこと。
(2) 集合は放送にて指示をする。放送後、速やかに直接コートに集合すること。ベンチサイドは主審に向かって左側を先番チームとする。
(3) 試合前の練習は、試合ごとに両校同時に2分間とする。ただし、シングルスについては、対戦相手と練習すること。
(4) 試合が連続する場合、15分以上のインターバルを与える。
(5) 写真の『フラッシュ撮影』は禁止する。
(6) 今大会はマッチ中の給水を条件付きで認める。
①容器は倒れてもこぼれない蓋付の容器を使用すること。
②容器はラケットバッグに入れ、主審の横に置くこと。
(7) クーラーボックスのフロアー内持ち込みは禁止する。
(8) 氷嚢の使用はインターバル中のみとし、使用後は保冷バッグに入れること。
- 18 審判上の注意 (1) 各種目とも、準決勝以降はサービスジャッジをつける。その他の試合は原則としてサービスジャッジはつけない。
(2) マッチ中、シャトルがインプレーでない時のみ、プレーヤーはコーチからアドバイスを受けることができる。
(3) それぞれのゲーム間に120秒を超えないインターバルを、又、ゲーム中どちらかのスコアが最初に11点になったとき60秒を超えないインターバルを認める。競技区域に入れる監督・コーチ等は同時に2名までとするが、主審の「20秒」のコールで競技区域内から離れること。
(4) 審判の判定に『抗議』や『異議』とみなされる行為は一切認めない。その判定に従わない時はその試合を放棄したものとみなす。
- 19 その他 (1) 今大会のシングルス・ダブルスの上位4名・4組は、令和6年度第53回全国高等学校選抜バドミントン大会に出場できる。ただし、同一都県からは2名・2組までとする。また、外国人留学生は、関東ブロックよりシングルス1名・ダブルス1組までとする。
(2) 宿泊については『宿泊要項』を参照のこと。
(3) 開・閉会式は行わない。

- (4) 競技時の服装及びシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
- (5) 露出するインナーウェアについては、(公財)日本バドミントン協会審査合格品競技ウェアのみ認める。
- (6) 上衣の背面中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。目立たない場合には、ゼッケンをつけてもらう場合もある。ウェアの表示については、一部(公財)全国高体連バドミントン専門部独自の申し合わせ事項を加える。文字列の大きさは、高さ6cm～10cmとし、(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。【上段：学校名、下段：都道府県名】ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。
(ゼッケンの場合の文字の色は、黒色又は濃紺色とする。)
- (7) 練習は、12月13日(金)13時から16時まで、『ALSOKぐんまアリーナ』で行うことができる。練習コートは都県別に割り振るので、各校で譲り合って練習すること。
- (8) 受付は全て会場内の『受付』で行うこと。
<12月13日(金)>
12時30分から14時30分まで(任意)
<12月14日(土)>
ダブルス出場者は、開場から9時30分までに受付をする。
<12月15日(日)>
シングルス出場者は、開場から9時30分までに受付をする。
- (9) プログラムは、参加選手1名につき1部を無料とする。
- (10) プログラムのミスプリントの訂正については、受付後すぐに所定の用紙を会場内の『受付』に提出すること。
- (11) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の責任は負わない。
なお、参加者は保険証を持参すること。
- (12) 飲食物・ゴミ等の後始末は、各校の責任で行うこと。
- (13) 履物は『屋内用』『屋外用』の区別をはっきりすること。
- (14) 会場内のロビー等での練習は禁止する。アリーナ内の施設・設備に損害を与えた場合には弁償してもらうこともある。